

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の発生状況（技術情報第2号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

現在の赤かび病の発生は平年並となっており、1穂当たりの被害粒は1～2粒程度で発病程度は軽微である。

記

1 麦類赤かび病の発生状況の調査概要（別紙）

- （1）5月8日及び9日に、県内の麦類赤かび病の発生状況調査を、小麦26ほ場、大麦12ほ場で行った。
- （2）小麦では、発病穂率1.1%（平年1.2%）、発病度0.19（平年0.22）、発生ほ場率50.0%（平年35.5%）で、平年並の発生であった。発病した穂の被害粒は1～2粒程度で発病程度は軽微であった。
- （3）大麦では、発病穂率1.0%（平年0.6%）、発病度0.17（平年0.09）及び発生ほ場率33.3%（平年19.3%）で、平年並の発生であった。小麦同様、発病した穂の被害粒は1～2粒程度で発病程度は軽微であった。

2 今後の留意点

赤かび病の発生は平年並で発病程度は軽微であるが、多発したほ場がある場合は下記の対策を徹底する。

- （1）刈り遅れると、赤かび病菌が産生するかび毒（DON）の含有濃度が高くなる傾向があるため、適期に収穫する。
- （2）収穫時にはほ場を確認し、赤かび病発生の多いほ場や発生ほ場で倒伏がみられた場合は、かび毒汚染の可能性が高くなるため、可能な限り、他の麦とは分けて収穫する。
- （3）共同乾燥施設においては、荷受時に赤かび病被害粒のチェックを行い、赤かび病被害粒がみられた場合は、必要に応じてその他の麦とは別に乾燥するなどの仕分けを行う。

（参考）検査規格では、食用麦の赤かび病被害粒の混入限度は0.0%である。

熊本県病害虫防除所
（熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係）
担当：作本 TEL 096-248-6490

令和元年(2019年) 麦類赤かび病の調査結果

調査日: 令和元年5月8日,9日

小麦

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	熊本市富合町新1	0	100	0	0	0	0.00
2	〃 〃 新2	0	100	0	0	0	0.00
3	熊本市城南町碓1	0	100	0	0	0	0.00
4	〃 〃 碓2	0	100	0	0	0	0.00
5	玉名市北牟田1	1	99	1	0	0	0.17
6	〃 北牟田2	0	100	0	0	0	0.00
7	玉名市野口1	1	99	1	0	0	0.17
8	〃 野口2	1	99	1	0	0	0.17
9	山鹿市南島1	0	100	0	0	0	0.00
10	〃 南島2	0	100	0	0	0	0.00
11	山鹿市鹿本町来民1.	0	100	0	0	0	0.00
12	〃 来民2	0	100	0	0	0	0.00
13	菊池市七城町砂田1	0	100	0	0	0	0.00
14	〃 砂田2	0	100	0	0	0	0.00
15	菊池市赤星1	2	98	2	0	0	0.33
16	〃 赤星2	2	98	2	0	0	0.33
17	大津町新1	0	100	0	0	0	0.00
18	〃 新2	1	99	1	0	0	0.17
19	御船町小坂1	2	98	2	0	0	0.33
20	〃 小坂2	1	99	1	0	0	0.17
21	甲佐町糸田1	9	91	9	0	0	1.50
22	〃 糸田2	3	97	3	0	0	0.50
23	嘉島町上六嘉1	1	99	1	0	0	0.17
24	〃 上六嘉2	4	96	4	0	0	0.67
25	氷川町若洲1	0	100	0	0	0	0.00
26	〃 若洲2	1	99	1	0	0	0.17
	平均値	1.1	発生ほ場率 50.0%				0.19
	平年値(過去10年)	1.2	〃 35.5%				0.22

大麦

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	山鹿市南島1	0	100	0	0	0	0.00
2	〃 南島2	0	100	0	0	0	0.00
3	菊池市七城町砂田1	1	99	1	0	0	0.17
4	〃 砂田2	2	98	2	0	0	0.33
5	菊池市赤星1	0	100	0	0	0	0.00
6	〃 赤星2	0	100	0	0	0	0.00
7	大津町新1	0	100	0	0	0	0.00
8	〃 新2	0	100	0	0	0	0.00
9	あさぎり町免田1	0	100	0	0	0	0.00
10	〃 免田2	0	100	0	0	0	0.00
11	多良木町多良木1	5	95	5	0	0	0.83
12	〃 多良木2	4	96	4	0	0	0.67
	平均値	1.0	発生ほ場率 33.3%				0.17
	平年値(過去10年)	0.6	〃 19.3%				0.09

※1 1ほ場において100穂調査

※2 発病程度 0:発病無し ①:穂の1/3以下が発病 ②:穂の1/3~2/3が発病 ③:穂の2/3以上が発病

※3 発病度 = $(6③ + 3② + ①) / (6 \times \text{調査穂数}) \times 100$

参考

過去の麦類赤かび病の調査結果

小麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	2.2	0.36	74.1	5/7調査
H17年	1.5	0.25	68.0	5/10～11調査
H18年	2.8	0.41	66.7	5/11調査
H19年	1.6	0.28	58.3	5/7～8調査
H20年	0.6	0.15	28.0	5/7～8調査
H21年	0.0	0.01	3.3	5/7～8調査
H22年	1.0	0.19	26.7	5/6～7調査
H23年	0.4	0.07	23.1	5/10・16調査
H24年	2.6	0.45	61.5	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.7	5/8・14調査
H26年	0.2	0.04	19.2	5/14・16調査
H28年	3.0	0.51	65.4	5/11・18調査
H30年	2.8	0.47	61.5	5/10・18調査
平年値(10年間)	1.2	0.2	35.5	H19～H30
5年平均	1.7	0.3	43.1	H24～H30
R元年	1.1	0.2	50.0	5/8・9調査

※H27年、H29年は調査なし

大麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	1.1	0.18	28.6	5/7調査
H17年	0.6	0.11	36.4	5/10～11調査
H18年	1.3	0.21	50.0	5/11調査
H19年	0.4	0.07	35.7	5/7～8調査
H20年	0.1	0.01	7.1	5/7～8調査
H21年	0.0	0.00	0.0	5/7～8調査
H22年	0.0	0.00	0.0	5/6～7調査
H23年	0.2	0.04	14.3	5/10・16調査
H24年	0.9	0.14	28.6	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.1	5/16・18調査
H26年	0.0	0.00	0.0	5/14・16調査
H28年	1.3	0.21	50.0	5/11・18調査
H30年	2.6	0.43	50.0	5/10・18調査
平年値(10年間)	0.6	0.1	19.3	H19～H30
5年平均	1.0	0.2	27.1	H24～H30
R元年	1.0	0.2	33.3	5/8・9調査

※H27年、H29年は調査なし